

研究発表に向けて

スポーツ健康科学科の授業は一般教科に加えて3年間で計25単位の専門科目の授業があります。

専門科目では講義・演習系の授業は「スポーツ概論」と「スポーツ総合演習」、実技系の授業は部活動と連動した「スポーツⅠ（陸上・水泳）、スポーツⅡ（野球・バドミントン）、スポーツⅢ（柔道・フェンシング）、スポーツⅣ（野外活動）、スポーツⅤ（体づくり運動）」を履修しています。

1年生のスポーツ概論では「体の構造と動作の仕組み」、「エネルギー供給機構」、2年生では「バイオメカニクス」、「スポーツ栄養学」、「統計解析」等の授業を実施していきます。

2年生では探究学習として自分達の興味を持ったテーマについて実験・調査などを行い、年度末に研究発表会を実施します。

スポーツ科学や健康科学といっても、動きの分析を行うバイオメカニクス、メンタル、スポーツマーケティング、地域スポーツ政策と健康づくりなど様々な分野にわたります。

2年生の授業では研究発表に向けてテーマ設定、実験・調査計画を詰めていきます。

「何を知りたいのか?」、「どんなことをするか?」、「どうやってするか?」などの**ロジック（論理の筋道）を整えることが重要**になります。

ロジックの組み立てみ方によって処理の速さや変更のし易さが変わったりするので、一番頭を悩ませる課題です。

研究発表は単に参加するだけではなく、**圧倒的な当事者意識**（自分の仕事や行動がグループに大きく影響することを認識し、問題があれば自ら解決策を見つけ出し、改善に努める態度）を持って**参画する**経験を積むという狙いもあります。



